



上早川一区～五区(232世帯)では、区民の体力向上と区民の交流による助け合い意識・郷土愛意識の醸成を図るため、平成27年度から共同で元気活動の取り組みを行っています。

今年度は、高齢者のみならず、区民が積極的に屋外に出て集落巡りや名所旧跡周りを行っていただけるように、昨年度23箇所に設置した案内板やウォーク表などを活用したウォークラリーを実施。竜野体育協会と共催して企画し、竜野小学校や老人会にも参加を呼び掛けました。

参加者の体力などを考慮して、複数のコースを設定。子どもから高齢者までが参加し、体力の向上を図りながら郷土の歴史を学び、区民の交流ができました。

上早川一区 ～五区 ふるさと愛を育む 名所・旧跡巡り

地域を楽しむウォークラリー



「こうさんもん元気活動」レポート

地域全体の活動で元気をつくり出そう

平成27年度から町では、地域コミュニティの活性化や地域力向上を目的に、地域が元気になる活動を町職員(「元気活動サポーター」)が支援しながら実施す

る「こうさんもん元気活動」推進事業を実施しています。今年度は、町の審査会で採択された12行政区8事業がさまざまに工夫した元気活動に取り組んでいます。



上：団子を調理する参加した北原区の区民の皆さん
右：朝早くからテントや机、椅子などを準備し会場を設営
中：会場で交流を広げるために世帯ごとに行われた自己紹介
下：交流して作ったお団子と団子汁に舌鼓を打つ参加者



下横田区 地域で取り組む 防災力の向上

安心して暮らせるための防災訓練

下横田区(池田健吾区長210世帯)では、下横田自主防災会により構成される地域住民の自主性と相互信頼、共助の精神により地域の方が安心して暮らせる地域づくりを図るため、区・自主防災会・消防団が連携し、防災訓練を行いました。

訓練では、防災に関する勉強会や消防団による災害時の活動の様子や住民との関わりについての発表を実施。また、消防署による心肺蘇生法やAEDの使い方の訓練、炊き出し訓練、消火訓練などにも取り組みました。非常時の炊き出しの手順などを確認・共有するとともに、コミュニティの強化を図りました。



子どもから大人まで参加できる伝承遊び

中横田区(松永博文区長98世帯)は、地域の世代間交流を図ることを目的として、区全体の交流の場として開催している球技大会を拡充し、子どもから大人まで参加できる伝承遊びのインテン大会を開催しました。

大会当日は、竜野地区を中心に伝わる遊び「インテン」を知る団塊の世代以上の高齢者が製作と競技を指導。子どもたちが保護者とともに協力して大会に使用するインテンを製作し、競技を楽しみました。子どもから高齢者まで多くの区民が参加し、地域間および世代間の交流ができ、地域の団結力が高まりました。また、世代間交流を図るためにもちつきも実施しました。



中横田区 伝承遊びで つなぐ地域の輪

北原区 区民が集える まつりづくり

団子作りを通して図る 世代間・世帯間の交流

北原区(永山恵三区長49世帯)では、毎年実施しているお花見会を発展させ、「お団子まつり」を開催しました。

高齢者や小学生などの参加を促し、気軽に声を掛け合える新たな交流の場を設けて、継続実施することのできる新たなまつりへと発展させました。

開催当日は、会場設営後に料理研究家の沼田峰子さん(北原区)らの指導の下、子どもから高齢者までが一緒にいきなり団子や団子汁の作り方を学び、協力して調理。出来たての団子を会食し、世帯ごとの自己紹介をして交流を図りました。また、参加できなかった方には、レシピとともに団子を配布しました。

永山区長は、「今後は、さらに活動を拡充していくことも検討していきたい」と話しています。



行政の支援内容

元気活動サポーター

- 1行政区に2人程度配置(町職員)
- 区で取り組む元気活動事業へのアドバイスや支援

元気活動補助金

- 1行政区当たり上限額10万円

元気活動の主なテーマ

交流促進

祭り、イベント、文化、自主防災など

地域活性

特産品、地産地消、伝統芸能など

子育て

子育て支援、世代間交流、見守り、遊び、健康など

地域間交流

移住・定住、地域めぐり、交流会など

元気活動サポーターの役割

甲佐町を元気に！地域の力を高めよう！

地域コミュニティの活性化や地域力の向上、職員の資質向上のため各行政区ごとに元気活動サポーターを配置。地域の話し合いに参加したり、活動に向けた助言などを行います。

A区 新規拡充

B区 大きく活動

C区 補助金なし

D区 活動できない

元気活動サポーターのできること・できないこと

できる

- 地域が元気になる活動を一緒に考える
- 事業の内容を教えてほしい
- 元気活動に関して、アドバイスにのってほしい
- 他の地域の活動について、教えてほしい

できない

- 元気活動以外のことを手伝ってほしい
- 仕事中に手伝いに来てほしい
- 区の仕事を手伝ってほしい
- 元気活動でどんなことをするのか、決めてほしい

お問い合わせ先

町企画課

☎096・234・1154
(内線231)

● 元気活動で地域の力次代へ受け継ぐ

元気活動事業によって、地域間交流の活性化を図り、子どもから高齢者までが一緒に残る宝を守るために考える事が大切です。たくさんの方が気軽に参加できる機会を増やし地域コミュニティをはぐくみ、地域の力で活性化を図ることを継続することが明るい未来を作ります。

● 平成29年度「こうさんもん元気活動事業」での取り組みに関する区での企画内容

行政区名	目的・活動概要
中横田区	地域コミュニティ活性化および地域力向上を図り、地域が元気になるため、世代間交流活動を行う。中横田区は南北に長く、南部3集落、北部3集落が独立したコミュニティを形成しており、区全体の交流の場が非常に少ない。区全体の交流の場として球技大会を行っていたが、年々参加者が少なくなってきたため、参加人数を増やし、区全体の交流、世代間交流を図るため、これまで行っていたミニバレー、グラウンドゴルフに加え、インテン大会を実施する。インテンの製作は、地区の子どもに作り方を伝承しながら、世代間交流を図る。
下横田区	防災力の向上を図り、地域の安心・安全を拡大させ、地域のコミュニティの強化を図る。自主防災会を中心に実施してきた内容について、参加者を増やすため、周知方法を工夫し、防災に関する勉強会を実施後、災害の避難経路・避難場所の確認、避難誘導・炊き出し訓練を行う。
浅井区	子供から高齢者まで参加を呼び掛け、防災マップの作成、健康促進活動などを支援することにより、世代間交流、地域の活性化を図る。 ・地区を巡回し、危険箇所を確認、点検を行う。その後、防災マップを作成し、公民館への掲示および全家庭への配布を行う。 ・これまで植樹してきた花の手入れに加え、児童の卒業記念植樹を実施する。
上早川一区～五区	区民の体力向上と交流による助け合い意識・郷土愛意識の醸成を図る。昨年度までの事業で設置した案内板、パンフレットおよびウォーク表を活用し、3回のウォークラリーを実施する。コースは、参加者が体力などに合わせて選ぶよう2～3コースを設定予定。また、案内板設置個所に、休憩用の長椅子も2年間の計画で整備(今年度は10カ所の予定)。
和田内区	区の共有地を区民の手で公園化し、区民の交流の場として活用するため、区の憩いの場を創出する。区民全戸に参加を呼び掛け、共有地に、区の交流活動の一環として、植樹、自分たちで製作を行った椅子を設置し、交流の場を創設する。来年度以降は、花祭りや公園の維持管理を通じ、地域住民の交流を図る。
北原区	新たに秋に「お団子祭り」を開催し、世代間交流の場を創出し、地域住民同士の交流をはかる。新興住宅地で、住民同士の交流が希薄な状況。春には花見を開催しているが、参加者が少ない。秋に「お団子祭り」を開催し、子どもから高齢者まで参加し、いきなり団子などお団子の作り方を伝承するため、一緒に作り、作ったお団子を皆で食べる。欠席者にはレシビおよびお団子を配布する。
北早川区	区民の防災意識の向上および新たな区民となった子どもやその保護者に地域のことを知ってもらうとともに、地域内の交流を図る。地域をよく知る高齢者と共に、子どもやその保護者が地域巡りを行いながら、地名や危険箇所を明記した防災マップを作成する。また、元気に地域巡りを行うため、高齢者でも参加しやすい元気体操教室を月1回程度行う。
芝原区	若者の情報交換の場として村祭りを活用してもらい、若い世代の移住・定住を図る。また、掲示板を1カ所増設し、地区活動、防災マップとして活用。平成27年度から実施している村祭りに加え、婚活支援活動「まつり de デート」を実施。また、芝原団地の公園に新たに掲示板を作成し、地域内交流に活用していく。

地域みんなで取り組む元気のきっかけづくり

● 平成29年度は12行政区8事業が採択

「こうさんもん元気活動」推進事業は、地域コミュニティの活性化や地域力向上を目的に、地域住民の知恵や工夫を活かした地域が元気になる活動を町職員である「元気活動サポーター」が支援しながら実施する事業です。地域の高齢者から子どもまで多くの人が地域活動に気軽に参加出来る機会を増やし、地域の活性化を目指します。平成27年度から本格始動した同事業では、申請希望する行政区からの申請内容が審査会にかけられ、審査の結果、12行政区8事業が採択されました。行政区の特色を生かしたさまざまな元気活動に取り組み、元気ある地域づくりを進めています。

● 活動実施地区には活動の補助をします

活動を行う上では、各地区ごとに元気活動補助金(上限10万円)と元気活動サポーター12人程度が配置されます。